

1 次の(1)～(6)の古語の意味をあとから選び、記号で答えなさい。

- (1)いと ( ) (2)つきづきし ( ) (3)ふみ ( ) (4)つとめて ( )  
 (5)とく ( ) (6)まかづ ( ) ( )

ア 退出 イ さつさと ウ 非常に エ ふさわしい  
 オ 手紙 カ 早朝

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

岐阜の鵜飼見のとき、鵜匠一人に鵜十二羽づつ、舟に篝<sup>かがり</sup>して、これをつかふ。十二節の繩、縦横にもちれて、さばきむつかしき事を、易くこれをなす。鵜匠にこの事を尋ね侍れば、「まづもぢれぬよりさばきて、なまもぢれなるものをまたさばけば、むつかしくもぢれたるもの、ひとりほどけさばくる」と言へり。「万にこの心はあるべし」となり。

(服部土芳「三冊子」より)

\*鵜飼 鵜に繩をつけた鵜を川の中に入れて、鮎などの魚をとらせる漁。

\*鵜匠 鵜飼いを職業とする人。

\*篝<sup>かがり</sup>して 篝火をたいて。 \*もちれて 〓もつれて。

\*さばきむつかしき 〓さばくのが難しい。

\*なまもぢれなるもの 〓もつれかかったもの。

\*ひとり 〓ひとりで。

問一 線①「この事を尋ね侍れば」は、「この事を質問しましたところ」という意味ですが、どのようなことを質問したと考えられますか。その質問の言葉を、口語の会話文の形で書きなさい。

問二 線②「万にこの心はあるべし」の大意として適当なものを、次から選びなさい。

ア 何事においても、「ものごとは、簡単なことから解決していくと、難しいことも自然にうまくいく」という心得が大切であろう。

イ 何事においても、「ものごとは、難しいことから解決していくと、簡単なことは自然にうまくいく」という心得が大切であろう。

ウ 何事においても、「ものごとは、簡単なことと難しいことを交互に解決していくと、自然にうまくいく」という心得が大切であろう。

エ 何事においても、「ものごとは、問題の難易に関係なく得意な方から解決していくと、自然にうまくいく」という心得が大切であろう。